

御食国×スポーツまちづくり OBAMAモデル

＜目標＞ 計画期間：～令和10年3月31日

地域資源を活かした『「稼ぐ」「活かす」「育む」』のサイクルによる持続可能なスポーツまちづくりの実現！

- ①スポーツ参画人口の拡大【する・みる・ささえる】スポーツイベント参加人数 R6) 2,846人 → R9) 3,500人
- ②スポーツを通じたコミュニティの形成【する・みる】地区対抗スポーツ大会の参加人数 R6) 1,400人 → R9) 2,000人
- ③スポーツを通じた地域経済の活性化【ささえる】ふるさと納税額 R6) 529,255千円 → R9) 1,000,000千円

＜PRポイント＞

- ①御食国（みけつくに）などの歴史や食文化等の豊かな地域資源を活用したスポーツによるまちづくりの推進
- ②2000年から取り組んでいる「食のまちづくり」によって醸成された市民協働体制の活用
- ③北陸新幹線全線開業を見据えた、地域全体での受け入れ体制の構築の推進



▲「食のまちづくり」による高校サッカー部への栄養教室の開催

＜現状・課題＞

- スポーツ大会の参加者の固定化・高齢化や指導者不足等による、スポーツを通じた交流の希薄化やスポーツを定期的^に実施している市民の割合の減少。
- 小浜市で毎年開催されている「OBAMA若狭マラソン大会」には県内外から多くのランナーが参加し、そのエントリー数は増加傾向にある一方で、市内企業からの協賛金が減少するなど、持続可能なスポーツイベントの実施に向けた運営体制の構築が必要。
- 市内のスポーツ施設の老朽化が進んでおり、多額の修繕費用が必要。

＜総合的な取組内容＞

活かす 地域資源である自然や歴史、文化、食、食のまちづくりを活かすスポーツ振興

- ・スポーツツーリズム（大会）の開催
- ・日本遺産等を活かしたモデルコースの構築（鯖街道マラソン・ウォーキング・サイクルリング）
- ・スポーツ食育事業の実施
- ・体験プログラムとのコラボ体験（ブルーパークとシーカヤック、SUP）
- ・スポーツ食育合宿の誘致



稼ぐ スポーツ振興事業が持続できるように内貨や外貨を稼ぐ

- ・県内プロスポーツチームとの連携
- ・スポーツ合宿の誘致（スポーツ食育とのコラボ）や
- ・企業とコラボしたスポーツイベントやスポーツツーリズム（大会）の開催
- ・ふるさと納税、企業版ふるさと納税の活用



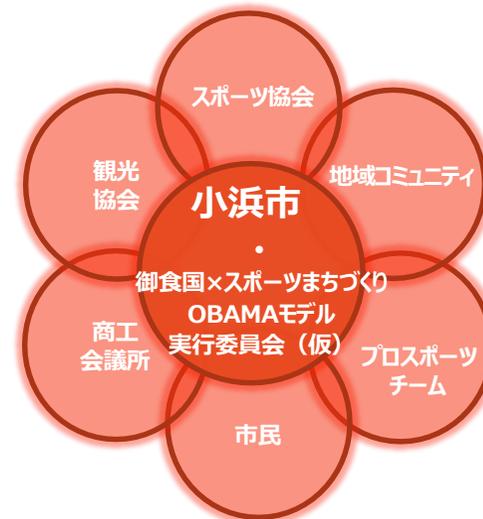
育む 市民や健康、コミュニティ、競技力を育む

- ・ニュースポーツ、パラスポーツ、地元発祥スポーツ機会の普及
- ・部活動の地域展開
- ・競技者のレベル向上（プロ選手による指導）
- ・コミュニティを形成するスポーツイベントの開催
- ・保育、教育現場、親子での運動習慣
- ・スポーツをささえる機運や地域資源への愛着の醸成

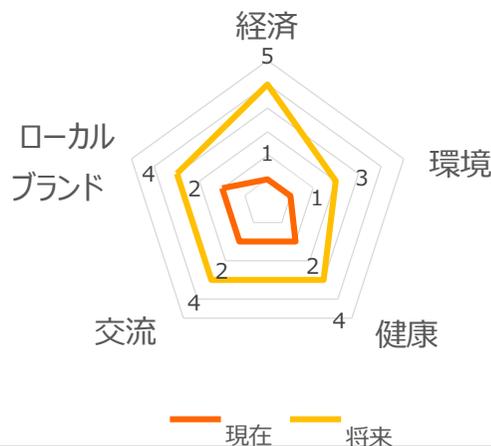


地域資源を活かした『「稼ぐ」「活かす」「育む」』のサイクルによる持続可能なスポーツまちづくりの実現！

＜継続的な取組を確保できる体制（図）＞



＜セルフチェックシート＞



問合せ先・電話番号

福井県小浜市総務部市長公室
0770-64-6001